

II. Let thy hand be strengthened (御身の手は強く)

正義を体現し、いつくしみにあふれた国王をたたえる。

歌詞は「詩篇」の 89 章、王をたたえる古代イスラエルの詩から引用しています。ジョージ 2 世をたたえる歌といえます。

全部で 3 つの部分に分かれています。オーボエと弦楽器だけで演奏されるので、全体として落ち着いた曲になっています。

- **1 番目の曲**：各パートが交互に「御身の手は強くあれ」と呼び掛ける形で始まり、軽やかなメロディとリズムが続きます。
- **2 番目の曲**：一転して威厳に満ちた雰囲気になります。国王がいつくしみにあふれ、正義を体現した存在であることを願います。
- **3 番目の曲**：再び軽やかな曲調に戻り、王に向けて「ハレルヤ」という賛美の言葉を各パートが繰り返します。

III. My heart is inditing (わが心はうるわしい言葉にあふれ)

王妃の戴冠の際の曲～王妃をたたえ、国王夫妻の下での国家の繁栄を願う。

戴冠式の終わりにキャロライン王妃が冠を受ける際に歌われました。全部で 4 つの部分に分かれ、1 番目から 3 番目の歌詞は「詩篇」の 45 章、古代イスラエルの王と王妃の結婚式の様子を詠んだ詩から引用しています。また、4 番目の曲の歌詞は「イザヤ書」49 章の「古代イスラエルの人々が周辺の強国（歌詞中では養父、養母）に守られて大きく繁栄するだろう」という神のお告げから引用しています。王妃をたたえるとともに、国王夫妻の下で国が繁栄するようという願いが込められた曲といえます。

1 番目から 3 番目の曲はいずれも、1 つないし 2 つのパートから優しくゆったりと始まり、次第に他パートも加わっていくという構成になっています。王妃の戴冠にふさわしい優美な旋律が続きます。

そして、4 番目の曲は、それまでの曲とは対照的にテンポが速くなり、全パートが一斉に歌いだして始まります。ティンパニとトランペットがここぞとばかりに加わり、荘厳で華やかな曲です。

IV. The King shall rejoice in thy strength

(王は御身の力によりて喜び)

国王に栄光と威厳を授けた神を賛美する。

歌詞は「詩篇」の 21 章、神を賛美する詩から引用しています。戴冠式は、国王が神への誓いを行うなどキリスト教との関わりが深い儀式ですので、神を賛美する歌が取り入れられました。全部で 4 つの部分に分かれており、躍動感にあふれています。

- **1 番目の曲**：心弾むようなメロディとリズムで、国王が神の力に喜んでいることを歌います。
- **2 番目の曲**：引き続き軽く弾んだ曲調ですが、神の救いを象徴するかのようにより優しく穏やかになります。
- **3 番目の曲**：一転荘重な雰囲気になり、神が国王に栄光と威厳を授け、国王の地位に導いたことをたたえます。一説には、ちょうど国王に冠を授けるときにはこの曲が歌われたとされます。
- **4 番目の曲**：神に向けて「ハレルヤ」という賛美の言葉を、各パートが交互に、あるいは全パート一斉に力強く歌って締めくくります。

御身の手は強く

① *Let thy hand be strengthened,
and thy right hand be exalted.*

② *Let justice and judgment
be the preparation of thy seat!
Let mercy and truth
go before thy face!*

③ *Allelujah!*

① あなたの力が強くなりますように。
そして、あなたの右手が高く
あげられますように。

② 正義と公平な判断が
あなたの王座の礎となりますように。
いつくしみと真実が
あなたの顔の前に表れて、あなたを導いて
くださるよう。

③ ハレルヤ！

わが心はうるわしい言葉にあふれ

① *My heart is inditing of a good matter;
I speak of the things
which I have made unto the King.*

② *Kings' daughters were
among thy honourable women.*

③ *Upon thy right hand did stand the Queen,
in vesture of gold;
And the King shall have pleasure,
in thy beauty.*

④ *Kings shall be thy nursing fathers,
And Queens thy nursing mothers.*

① 私の心はうるわしい言葉にあふれ、
私は王について詠んだ詩を語ります。

② 諸王の娘たちは、
あなたの尊い女たちの中にいます。

③ 王妃は黄金の衣をまとうて
あなたの右に立ち、
そして王はあなたの美しさに
喜ぶでしょう。

④ 諸王はあなたの養父となるでしょう。そして、
その王妃たちはあなたの養母となるでしょう。

王は御身の力によりて喜び

① *The King shall rejoice
in Thy strength, O Lord!*

② *Exceeding glad shall he be,
of Thy salvation.*

③ *Glory and worship hast
Thou laid upon him.
Thou hast prevented him
with the blessings of goodness,
and hast set a crown
of pure gold upon his head.*

④ *Allelujah!*

① おお主よ！王はあなたの力に
喜ぶでしょう。

② あなたによる救いを
この上ない喜びとするでしょう。

③ 栄光と威厳を
あなたは王にお与えになりました。
あなたはいつくしみの恵みをもって
彼を導き、
王の頭に純金の冠を
おかぶせになりました。

④ ハレルヤ！